

令和4年度第2回瑞浪市市之瀬廣太記念美術館協議会会議録

日時:令和4年10月20日(木)9時30分~10時30分

会場:瑞浪市化石博物館 別館研修室

出席者 <協議会委員> 小栗 茂(学識経験を有するもの)
島村 節男(学識経験を有するもの)
西尾 京子(家庭教育の向上に資するを有するもの)
柴田 増三(社会教育関係者)(会長)
吉田 尚子(学校教育関係者)
<事務局> 水野 義康(館長)・安藤 佑介

1. あいさつ

館長より開催の挨拶がなされた(内容は省略)。

柴田会長より挨拶がなされた(内容は省略)。

2. 報告事項

令和4年度事業中間報告について

1) 普及活動の充実

・①企画展の開催

委員:企画展は第一展示室で開催した方が良い。第二展示室では小規模なものになってしまう。

事務局:今回は、小栗寿賀子氏の希望により第二展示室で開催することとした。今後作家の方と相談して決定したい。

2) その他

委員:岐阜県陶磁器工業組合連合会より寄贈を受けたブロンズ像の展示については、事前に専門家もしくは協議会委員に相談してほしかった。

事務局:今後同じような状況があった場合は協議会委員に事前協議することとする。

3. 協議事項

令和5年度事業計画について

1) 教育活動の充実

・①企画展の開催

事務局:令和5年度企画展について詳細は未定であるが、現在のところ有賀正季氏の作品展を検討している。

委員:企画展の準備期間が短いと思われる。企画展にあわせて作品を制作するため、作家の決定は夏頃の方が良い。できれば2年先まで決めてあると良い。

事務局:今後は、より早めに内容を決めていく。

委員：企画展は、個展でなければならないか。

事務局：2人以上の合同展やグループ展も可能であるため、今後はこのような形式の企画展も考えたい。

委員：有賀氏が開催を承諾しているのであれば、その方向で調整を行ってほしい。

事務局：本人からは承諾をいただいているので、有賀正季氏の展示会を行うということで詳細を協議・調整していく。

・②講座の開催

委員：「土人形を作ろう」は参加者数も減ってきており、常連ばかりになっている。他にも似たような講座を開催していると聞いているため、統合するなど今後の方針を検討していただきたい。

事務局：来年度は、従来通りの開催とするが、廃止や統合も検討する。